"子どもも大人もわくわく映画まつり"

春休みに、映画『輝みる小学校』の上映会＆
意見交換会、フリースペースの開放を行います。
『自分のままでいいんだよ』
そんな小学校、中学校があるんです!
そんな学校のドキュメンタリー映画が、
「文部科学省選定映画」なんです!
そんなふうになっていったらいいなぁ
そんなふうになっていくのかなぁ
私たちは、どう思う？
是非是非みんなで観て、わいわい語り合いましょう
詳細はこちら、又はチラシをご覧ください。

日時：3 月 25 日(土) 16:30 開場 17:00 映画上映
3 月 26 日(日) 9:30 開場 10:00 映画上映
映画上映 90 分＋15 分(監督のトーク)

会場：前原南コミュニティセンター
糸島市前原南一丁目 11-23

※駐車場のスペースに限りがあります。できるだけ、公共交通機関などを使ってお越し下さい。

参加費：無料

★映画上映後 子どもも大人も一緒に感想や意見交換会
☆子どものフリースペースあります(多目的室)

主催：NPO 法人いとしま児童クラブ

申込：Google フォームより
お申し込みください。
https://forms.gle/RrzmXMDHvyq7nkyUA
①参加日②お名前③大人と子どもの人数④連絡先をご記入下さい。
又はお電話にて 092-332-0112/324-1701 迄

「みんなの居場所」移転先 周辺地図



筑前前原駅から徒歩１５分
糸島高校駅前から徒歩１８分
篠原バス停から徒歩２分
202号線バイパス有田中央を北
前原中学校・前原南小学校付近



各種 SNS でも発信はじめました！

TikTok　Instagram　Facebook　Twitter

NPO(特定非営利活動)法人いとしま児童クラブ
〒819-1128
福岡県糸島市篠原東一丁目 23 番 32 号
☎092-332-0112 fax092-324-1701
mail:itosima.jidou.c@gmail.com

≪NPO 入会案内≫
会費(年会費) 会員(個人・団体) 5,000 円
賛助会員(個人・団体) 2,000 円
※いとしま児童クラブは、会員の皆様の会費とご寄付で運営されております。

いとしま児童クラブ「みんなの居場所」会報 No.1
2023．2月発行

《ご挨拶》

皆様、お元気で新しい年をお迎えのことと思います。昨年末「みんなの居場所」を移転し、こども達がほぼ毎日来ています。放課後来所する子ども達もいて、賑わっています。１月 18 日に事務所の移転を終え、やつと Wifi・通信関係も移転が終わり、一息ついたところです。見学、相談も増えてきました。皆様、お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

さて、「糸島市子どもの居場所　みなも」の運営に関わってある九州大学准教授の佐々木先生から「糸島子どもの居場所プロジェクト」に呼びかけて頂き、昨年末理事会で提案を頂きました。

理事会では定款第５条第３号「子ども達が安全で健やかに成長することができるための地域、他団体との交流、連携及び協力事業」に掲げている事業に該当し、「糸島子どもの居場所プロジェクト」に参画していくことを確認しました。

「糸島子どもの居場所プロジェクト」についてのお考えを p3 に掲載しています。ご一読頂きご理解の程よろしくお願いいたします。二丈地区に開設予定している居場所については、クラウドファンディングで資金調達を考え、準備を進められています。ご協力いただければ幸いです。

また、春休みの事業についても p4 に掲載しています。ご参加いただければ幸いです。

理事長　江頭晶子

《２０２２年度の取り組み》



すべての子どもたちが、おとなとともに、楽しく夢がもてる社会をめざして、学習会に参加したり、学習会を企画したりして、糸島の皆様にも呼びかけていきました。

9/19 には、ふくおか教育を考える会主催の講演会に Zoom 参加し、電動車車椅子の新機構の発明を行い、寝たきりの人達と一緒に、寝たきりの人でも働ける『分身ロボットカフェ』などを運営している吉藤オリィさんのお話をお聴きしました。小学校から不登校で孤独を感じたからこそ、孤独の解消について考えるようになったというオリィさん。できないということこそが強みで、それこそがどうしたらできるようになるかを考えられる原動力になる、というお話しには、大変勇気をもらいました。その後、希望者と再びアーカイブ動画を視聴して振り返りました。

10/29 には、子どもの権利条約の概念の普及に３０年間日本中を奔走されている、早稲田大学名誉教授の喜多明人さんから、「『子どもの声をきく！』とは～なぜ、いま子どもの権利条例なのか～」という演題で、



現在の子どもを取り巻く危機的な環境と、子ども基本法ができた背景について学ばせて頂きました。今やこどもは 10 人に１人というマイノリティとなり、大人に忖度しながら生きている子ども達の自己肯定感・幸福度の低さについて触れ、家族も学校ももういっぱいいっぱいの現状の中、地域全体で子どもを見守れる仕組みづくりが必要だと訴えられました。今糸島市では、子どもの権利に関する条例づくりが始まっています。皆が関心を持ち、子どもの声を聴き、市民も声を届け、皆が幸せになれる条例づくりになっていって欲しいと思っています。

居場所の愛称（ニックネーム）ぼしゅうちゅう！

いとしま児童クラブ「みんなの居場所」　活動報告

「みんなの居場所」、2022年８月にオープンしてから、はや半年が経ちました。

最初は知り合いの口こみで見学や相談に来られる大人の方ばかりでしたが、糸島新聞で紹介して頂いたり、市役所やコミュニティセンターにおいてあるチラシを見て、ホームページを見たりして、と、少しずつ存在が知られるようになってきました。

今は保護者とともに来所する乳幼児さんから、小学生、中学生、高校生、そしてお孫さんの相談に来られるおばあさま、ひいおばあさままで、幅広い年齢層の地域の方々で賑わうようになってきています。かるたとり、トランプ、ボードゲーム、将棋など、子どもも大人もしんけん！

スクールソーシャルワーカー（SSW）さんの来訪、糸島市や、ほかの民間団体との連携なども始まりつつあります。

１２月に一軒家に引越しをしてからは、学校帰りに利用に来る子ども達も増えてきました。

地域で子どもたちを温かく見守る環境を、皆様とともに創っていきたいと思っております。



ビー玉ころがし
ころころころころ
なんどもチャレンジ



老若男女でジェンガ
ああ、たおれる～！



学校帰りに寄って、まずは
宿題もくもく・がやがや





ボンドアート
みんなでわいわい
やってみた





きなこクッキー
おいしかった！



炊き込みご飯とおみそ汁　大根漬け　みかん
おもちであれこれ　ありがたや～







まぜまぜ　ふんわり　ほっとケーキづくり

【ひとこと・かんそう】

「たのしい。」「おもしろい。」「勉強しなければ、みたいな圧がないので、気が楽。」「本がたくさんあって、いつでもこれるからとてもいいです。またそこにいるおとなの人たちがとてもやさしくせっしてくれたり、ときどきおにぎりやホットケーキもだしてくれるのでいいです。」「お母さんが仕事でいないとき、きがるにいけるのでとてもいいです。」「みんなが思い思いの過ごし方でホッとできるところだと思います❀一緒にご飯を食べたり、おしゃべりしたり、遊んだり、楽しかったです。」

※開所時間が 10：00～18：00 になりました。※Line でお話しもできます！

※お知らせはホームページ http://itoshima-jidoclub.com、各種 SNS で発信中！

『糸島子どもの居場所プロジェクト』について

九州大学准教授　臨床心理士　糸島市子どもの居場所みなも運営　佐々木玲仁様より



このたび糸島に子どものための居場所をつくるために，
「糸島子どもの居場所プロジェクト」を立ち上げる準備を進めています。
これは，九州大学人間環境学研究院の佐々木研究室で運営している
「糸島市子どもの居場所みなも」，
深江地区に私がこれから新設する「子どもの居場所うみどり（仮）」，
いとしま児童クラブの「みんなの居場所」
が連携し，クラウドファンディングで資金を集めて子どもが安心して
いられる場所を安定的に確保していこうとするものです。

今の世の中に一番足りていなくて一番必要なのが「子どもが本当の意味でほっとできる空間と時間」です。ほっとするという気持ちは，何にもせきたてられない，自分の気持ちを言ってもあれこれ評価されない，何かを押しつけられることがない，「大丈夫だ」と思えるところにしか生まれません。そして，そこでたっぷりと時間を過ごすことができたら，子どもはものすごい勢いで力を出してきます。これは全員です。例外はありません。大人が焦って，待てないで，子どもの中から出てくる芽を（多くの場合は善意のつもりで）摘み取ってしまわない限りは，必ず出てきます。

子どもの力が発芽してくるまでには，それを待つための場所が必要です。芽はいつ出てくるのか，どのくらいの早さで伸びていくのかは本人も含めてだれにもわかりません。芽が出てふくらんで，花が咲くまでの時間を確保するために必要なのが「子どもの居場所」です。

糸島を，そんな子どもの居場所がたくさんある場所にしていきたいと考えています。ぜひみなさまにもご協力をいただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

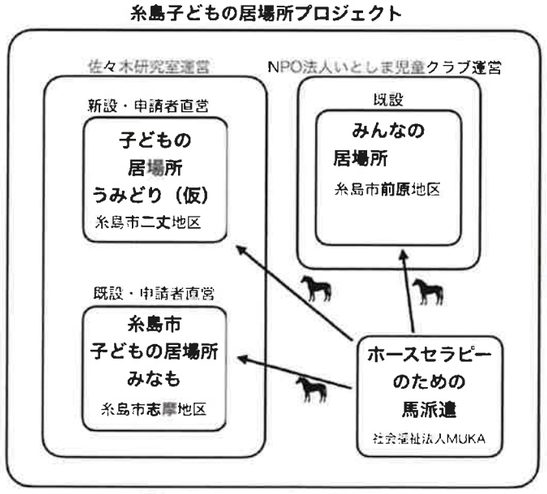


図1　クラウドファンディング概念図

広報いとしま２月号に、
佐々木先生が「みなも」について、
「子どもの居場所」について、
語られている記事が
特集で掲載されています！
是非、あわせてお読み下さい。